

子育て支援に向けた公営住宅の居住環境形成に関する研究

担当部科 居住科学部住生活科、都市生活科
研究期間 平成18～19年度

研究目的

平成16年の本道の合計特殊出生率は1.19で、都道府県の中で4番目に低く、全国平均よりも少子化が進行している状況にあります。道では「北の大地 子ども未来づくり北海道計画(H17.1)」を策定し、安心して子どもを育てることができる生活環境整備を推進しており、子育てに配慮した良質な住宅供給などを行うこととしています。

道住宅課では「北海道公営住宅等安心居住推進方針」に基づき、ユニバーサルデザインの視点に立つとともに、道保健福祉部と連携して策定した「北海道子育て支援推進方針」の考えを取り入れて子育てに配慮した公営住宅の整備を進めているところです。

本研究では、子育て支援に向けた公営住宅やその集会所・遊び場等の共用部分の整備・活用手法について検討するとともに、その内容を具体的な計画・設計に反映させ、子育てに配慮した公営住宅の供給及び居住生活環境の向上を支援することを目的としています。

研究概要

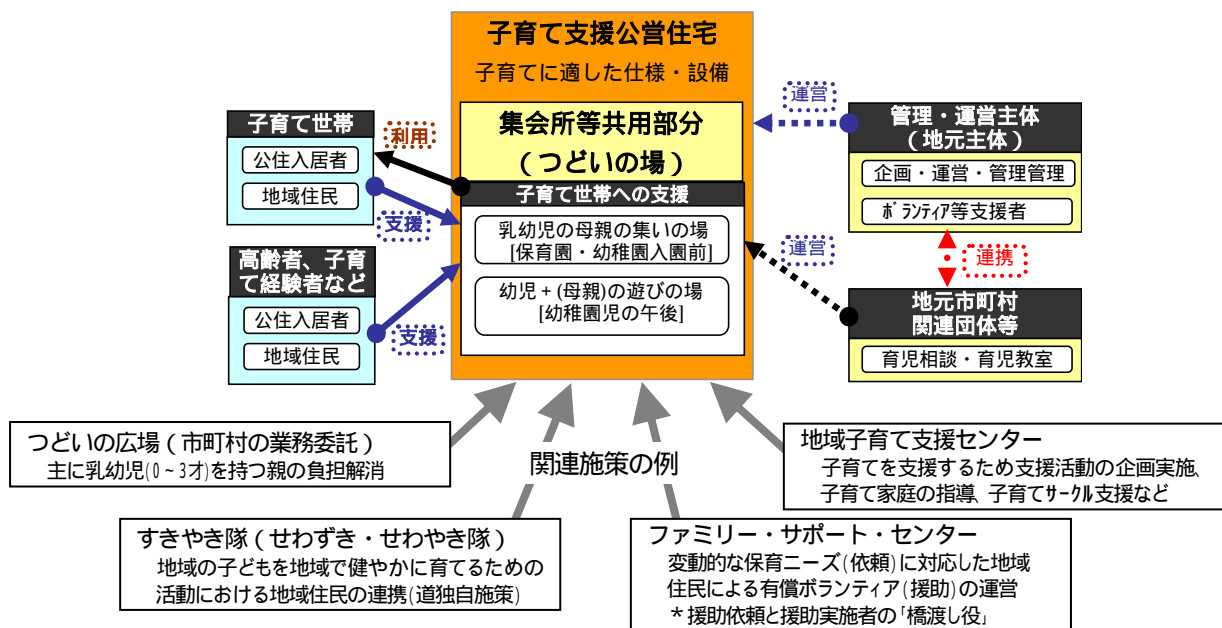
公営住宅における取組を検討するため、子育て支援として住環境整備に関わる取組状況等を踏まえながら先行して取組が進められている公営住宅の調査等を行い、住戸及び集会所等を活用した子育て支援の施策及び実施方法を整理します。

整理した内容を基に、道営住宅の子育て支援住宅の整備指針の検討を行い計画・設計等へ反映させます。

子育て支援に向けた公営住宅（集会所等の活用）

入居者及び地域住民の活動のために整備されている集会所を活用した乳幼児を持つ世帯への支援手法の検討を行います。そこで、厚生労働省が所管する「つどいの広場」、「ファミリー・サポート・センター」等の実施状況調査及び子育て世帯のニーズ把握をするため「子育てサークル」へのヒアリング調査を実施しています。

子育て支援に向けた公営住宅のイメージ



経過と今後の計画

平成19年度は、供用が開始されている根室市道営住宅「であえ～る明治団地」について調査検証を実施するとともに、専用部分の安全対策等・集会所等の活用方策を検討し、公営住宅における子育て支援住宅の整備指針へ反映させていく予定です。